

チーム えがお

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～

ご参加ありがとうございました! 参観日&引き渡し訓練



17日(土)は、2学期最初の参観日でした。参観授業、学級懇談、引き渡し訓練と慌ただしい日程の中でしたが、保護者のみなさんにはたいへんお世話になりありがとうございました。2学期が始まりほぼ2週間たちました。お子さんや他の子どもたちの様子、学級の雰囲気は、いかがだったでしょうか。

少しずつ落ち着いて学校生活や学習に取り組むことができるようになってきました。特に、落ち着いて学習できるように、6月から「学びのABCD」をもとに全校挙げて学習ルール(学習規律)の徹底に努めて参りました。その成果が少しずつですが、子どもたちの姿に見えるようになってきました。中でも、話す人の方を向き最後までしっかりと「聴く」ことを定着させていきたいと思ひます。人の話を集中して聴くことができるようになれば、思考を深めることができ、学習も充実していきます。発表する前に、まずはしっかりと聴くことが一番です。

今回の参観日の目玉は、「引き渡し訓練」でした。近年、地震や大雨・洪水等の災害をはじめ、不審者の出現や犯罪の発生等、緊急事態が起こったときの対応が大きな課題となっています。今回、命を守る訓練として「引き渡し訓練」を行いました。保護者のみなさんに協力していただき、訓練を無事に終えることができました。「天災は忘れた頃にやってくる」の如く、いつ何時、何が起こるか分かりません。どんなときでも落ち着いて、冷静に行動するための訓練や練習をしておきたいものです。どうすべきか、どのように行動すべきかを理解できているか、体験しているかどうかで、状況は大きく変わってきます。子どもたちやみなさんのおかげで、今日の訓練はとてもスムーズにできました。こうした機会に、ぜひご家庭でも災害時等の行動等について話し合っていたきたいと思ひます。

今後も、学校と家庭、地域が手を取り合い、より安全で安心できる学校にしていきたいと思ひます。



子どもたちの実態・現状把握が「カギ」です!



教育は言うまでもなく人を育てることであり、どのような目標に向かって人を育てるか、最終的にどのような人を育てるかについて具体化したものが学校教育目標ということになります。その目標を設定するために欠かせないのが、子どもたちの実態や現状の把握です。

学校教育では、様々な場面で実態把握や現状把握を必要とします。特に、授業では子どもたち一人一人の学習意欲の程度や学習内容の習得状況、集団の傾向等を把握し、授業の進め方や手立てを工夫しなければなりません。それほど、実態把握は重要です。

そこで、15日(木)には岡山県政策アドバイザーを講師としてお招きし、その客観的な方法をみんなで学びました。データに裏付けられた姿をきちんと把握し、教師の見立てや本人からの聞き取りなど、様々な情報をきちんと集約することの大切さを学ぶことができました。

【連絡】 子どもたちが登校した後に警報が出され、「通常」の授業を変更し、早く帰らせるなどの対応をとる場合は、必ず連絡(緊急配信メール及び電話)いたします。連絡がない場合は、「通常」通り(時間割通り)となります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

「緊急配信メール」への登録が増えています。よろしくお願いいたします!